

西鉄宮の陣駅「モビリティハブ」 社会実験について

2026年3月15日

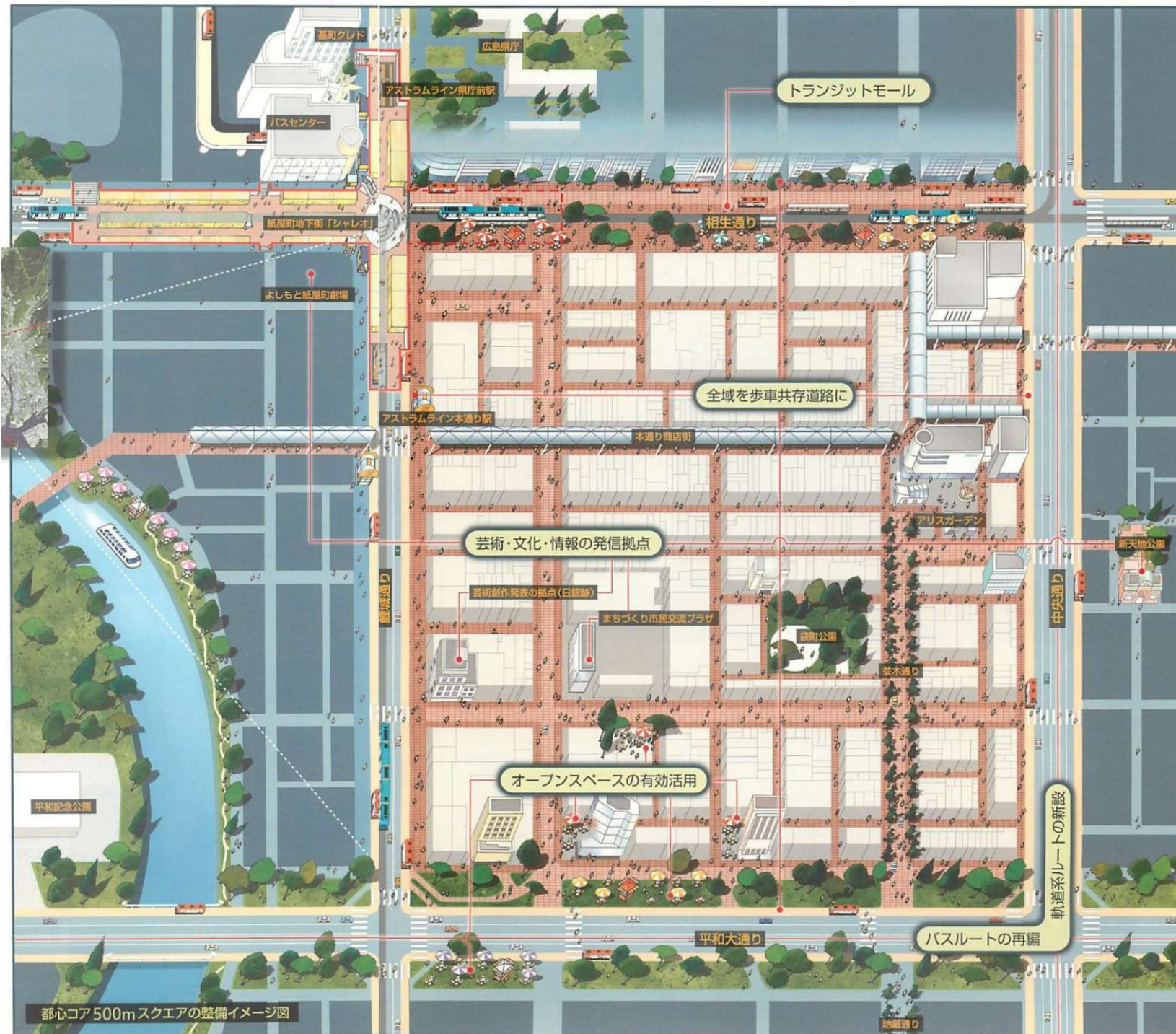
久留米市 牧野浩志

20年前の広島都市圏への提案

広島都市圏グランドデザイン研究会提言2002.4

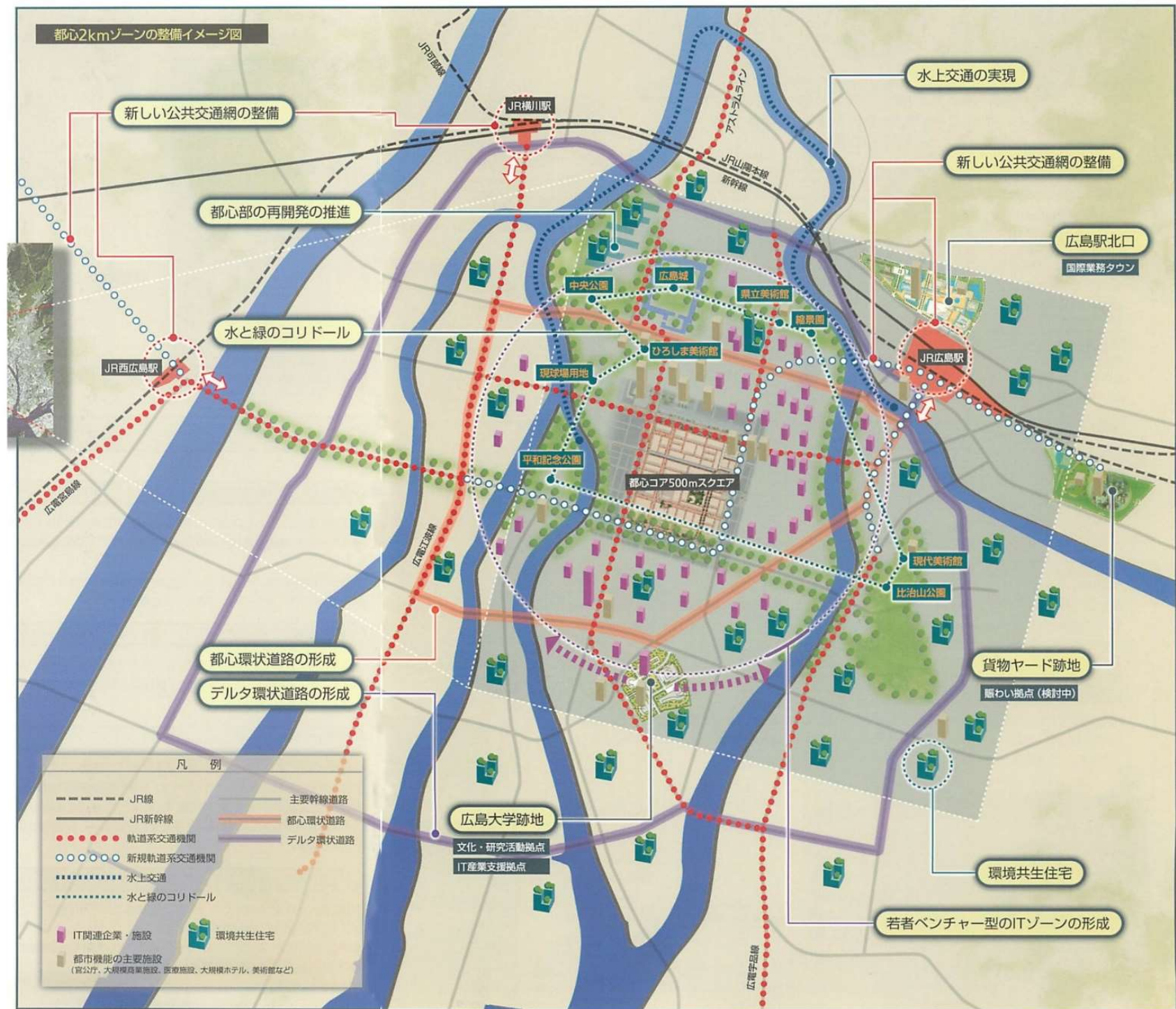
2002広島都市圏GD研究会提言 (都心コア、公共交通、環状道路)





都心コア500mスクエアの整備イメージ図

都心2kmゾーンの整備イメージ図



新しい公共交通網の整備

都心部の再開発の推進

水と緑のコリドール

JR西広島駅

都心環状道路の形成

デルタ環状道路の形成

広島大学跡地

文化・研究活動拠点

IT産業支援拠点

水上交通の実現

新しい公共交通網の整備

広島駅北口

国際業務タウン

JR広島駅

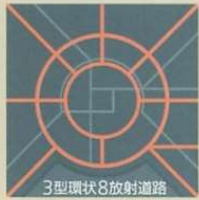
貨物ヤード跡地

賑わい拠点 (検討中)

環境共生住宅

若者ベンチャー型のITゾーンの形成

- 凡 例
- JR線
 - JR新幹線
 - 軌道系交通機関
 - 新規軌道系交通機関
 - 水上交通
 - 水と緑のコリドール
 - IT関連企業・施設
 - 環境共生住宅
 - 都市機能の主要施設 (官公庁、大規模商業施設、医療施設、大規模ホテル、美術館など)
 - 主要幹線道路
 - 都心環状道路
 - デルタ環状道路



3型環状8放射道路

3環状8放射道路

都市の骨格を形成し、人と車との調和をめざす幹線ルート
 都心部の歩行者回遊空間の形成や、環境保全、公共交通の定時運行のために、都心部の自動車交通を削減させる必要があります。物流や業務活動面などで役割の大きい自動車交通の利便性をできるだけ損なわずに、都心部の交通量の低下を実現するために、都心部やデルタ内に流入する通過交通を迂回させ、かつ都心にスムーズにアクセスすることができる、3環状8放射道路の整備が望まれます。あわせて道路情報、駐車場情報などの提供により、よりスムーズな移動が可能になります。

ミュンヘンの都市構造

3層の環状道路が整備されたミュンヘンは、都心環状道路で囲まれた中心部に、面的な歩行者ゾーンが設けられ、ここに賑わいの核が形成されています。多層環状道路の都市構造と、都心核の歩行者ゾーン、歩行者ゾーンへの公共交通整備をうまくリンクさせて、都市の活性化に成功している好例です。

● 両市の人口比較
 ミュンヘン市：約123万人
 広島市：約111万人



同スケールの広島市

(資料：中国総研作成)

3環状8放射道路

都心環状道路

都心コア500mスクエアへの通過交通を迂回させるもっとも内側の環状道路です。通過交通がなくなることで、モールなどで人々がゆったりと滞在・回遊できるとともに、アクセスや回遊のしやすい交通システムを兼ね備えた都心の核を形成します。

デルタ環状道路

都心2kmゾーン内への通過交通を迂回させる環状道路です。通過交通がなくなることで、ゾーン内の公共交通を主体としたスムーズな移動を実現させ、都市・居住機能を高めます。

都市高速環状道路

デルタ内への通過交通を迂回させる、もっとも外側の環状道路です。渋滞や停止のロスを確実に避けることができ、通過交通の定時性・高速性が保たれます。

8放射道路

郊外から都心に人や物をスムーズに運ぶために必要な、郊外と都心をつなぐ幹線道路です。都市間交通をスムーズに流すとともに、空港などの広域交通拠点へスムーズに移動できるようになります。

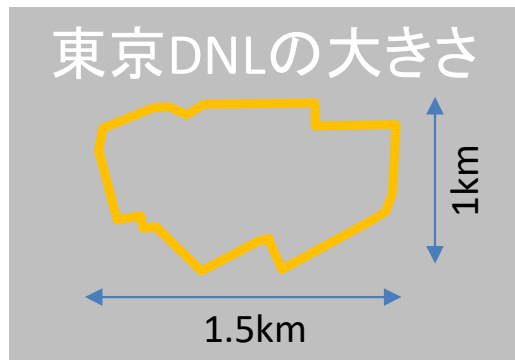


久留米市中心市街地の苦戦

久留米市の課題

- 人口減少
 - 中核市(30万人以上)でなくなる
 - 市の活力の減少
 - 税収減少による行政サービス低下
- 高齢者が3割時代(10万人)
 - 健康保険・介護保険支出の増大
- 中心市街地の活力低下
 - 商業の活力低下
 - 就業機会の減少
 - 地価減少による固定資産税減収
- スプロール問題
 - 慢性的な渋滞による人流・物流の阻害
 - 県外資本による郊外の乱開発
 - インフラ未整備地域の乱開発によるインフラコスト増
 - エネルギー多消費

久留米市中心市街地の苦戦



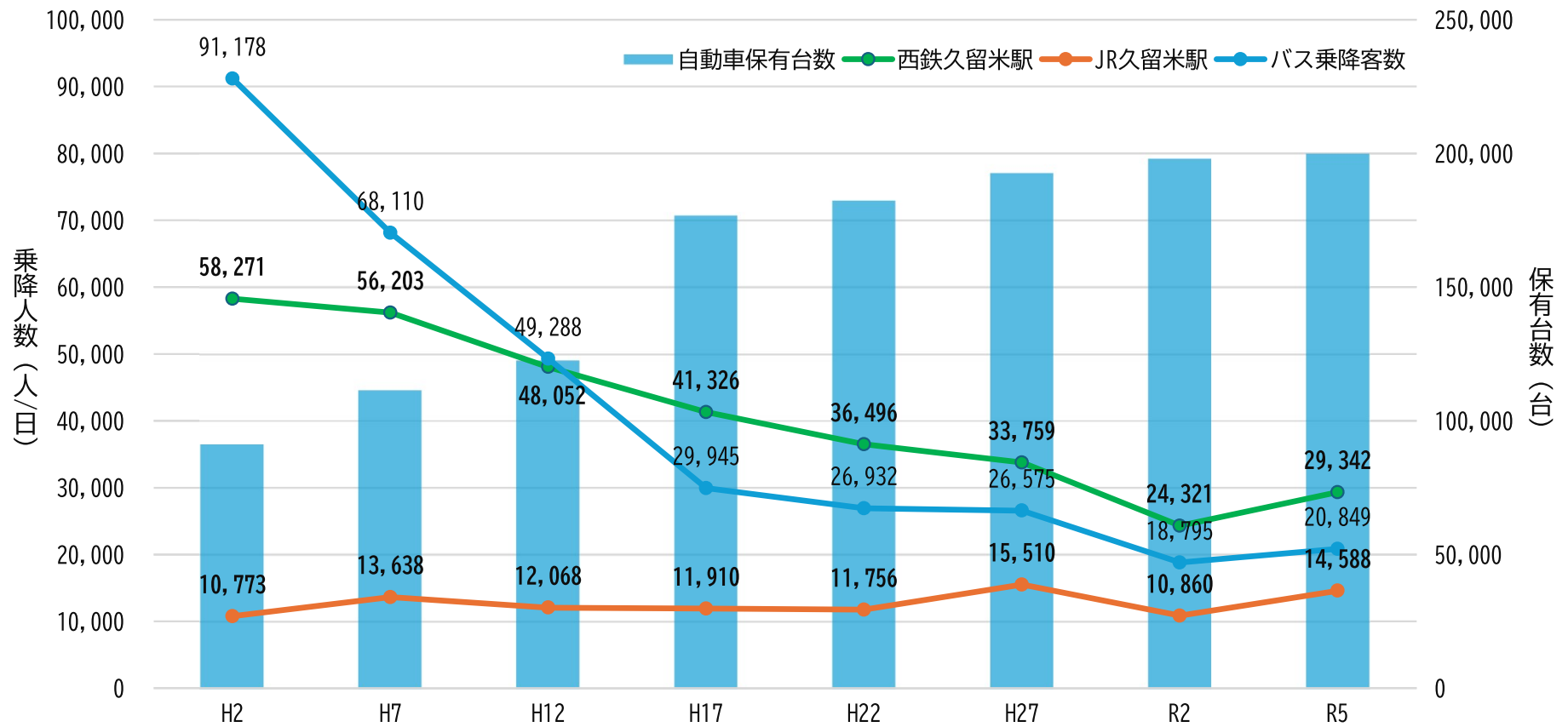
久留米市中心市街地の苦戦

- 1995年 上峰サティ開店(北部九州最大級)
- 2000年 大規模小売店舗法の改正(規制緩和)
- 2003年 ゆめタウン久留米開店
- 2005年 ダイエー六ツ門店閉店
- 2009年 久留米井筒屋閉店
- 2016年 久留米シティプラザ開業
- 2019年 岩田屋久留米・新館閉館



公共交通利用者の減少

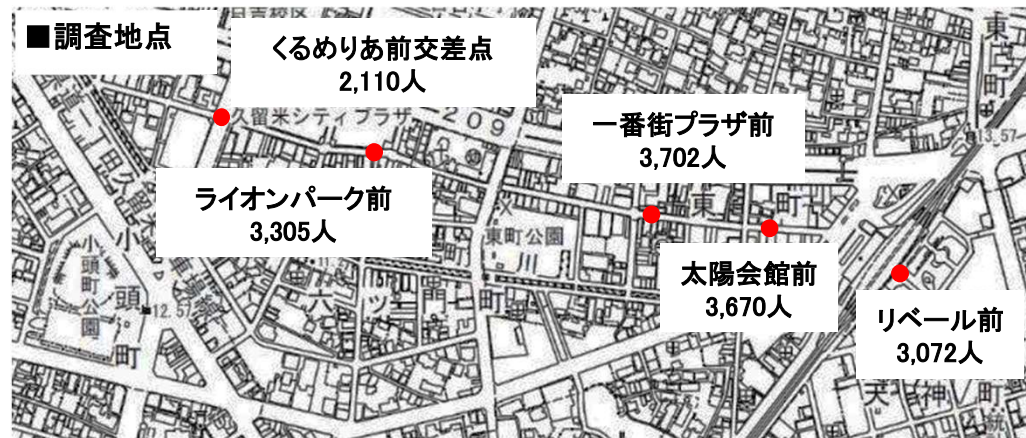
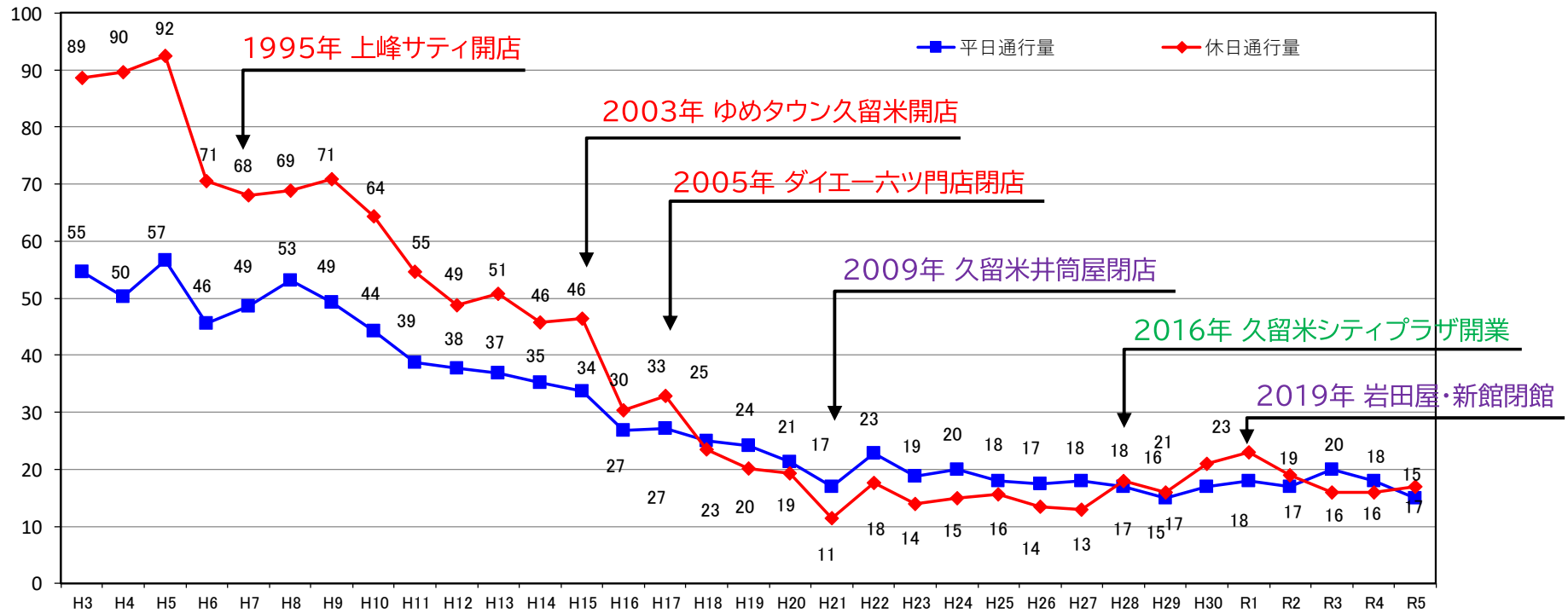
久留米市の自動車保有台数と公共交通利用者



歩行者通行量の減少

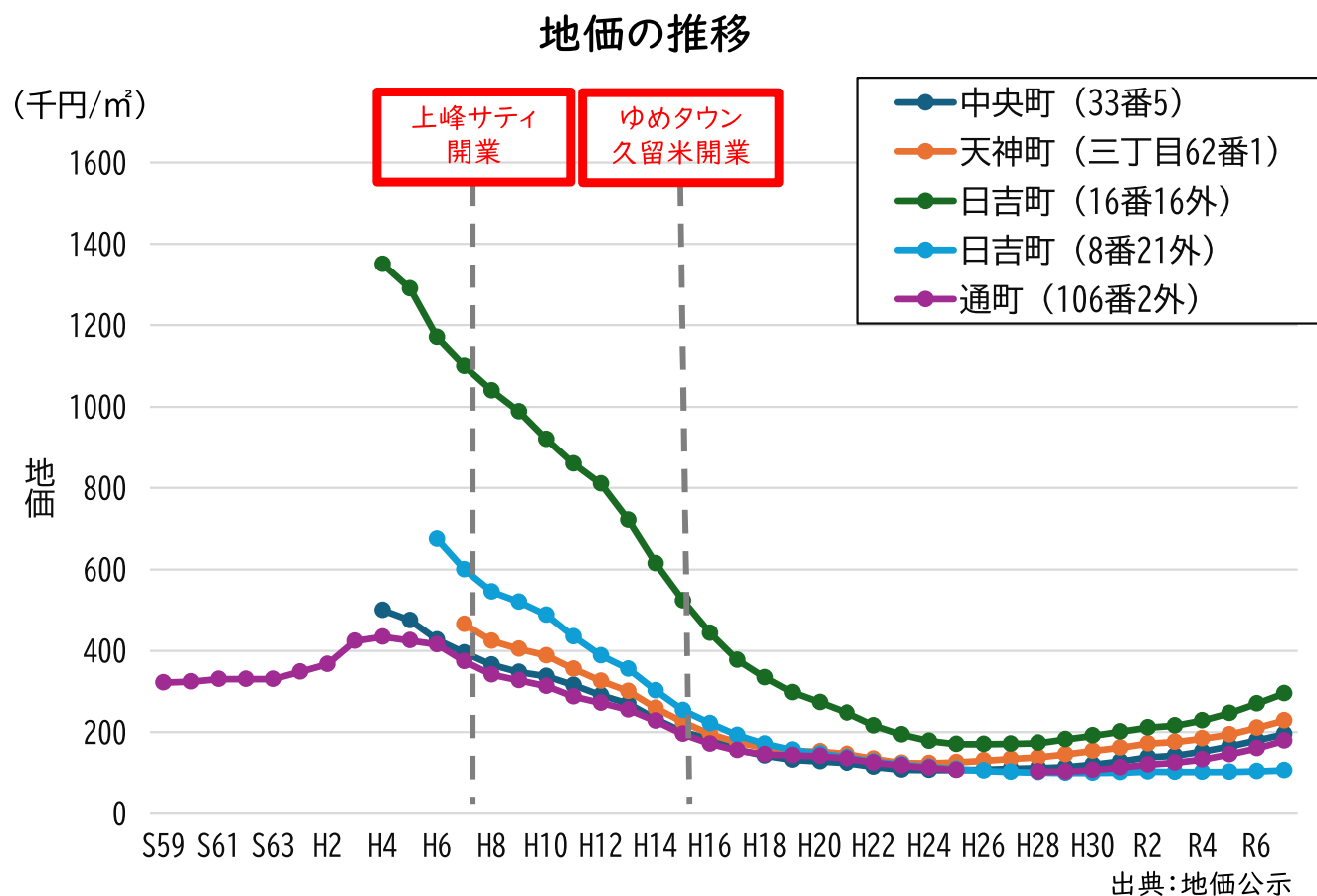
(千人)

(主要5点の合計)



中心市街地の地価の推移

135万円(H4) → 30万円(R6)

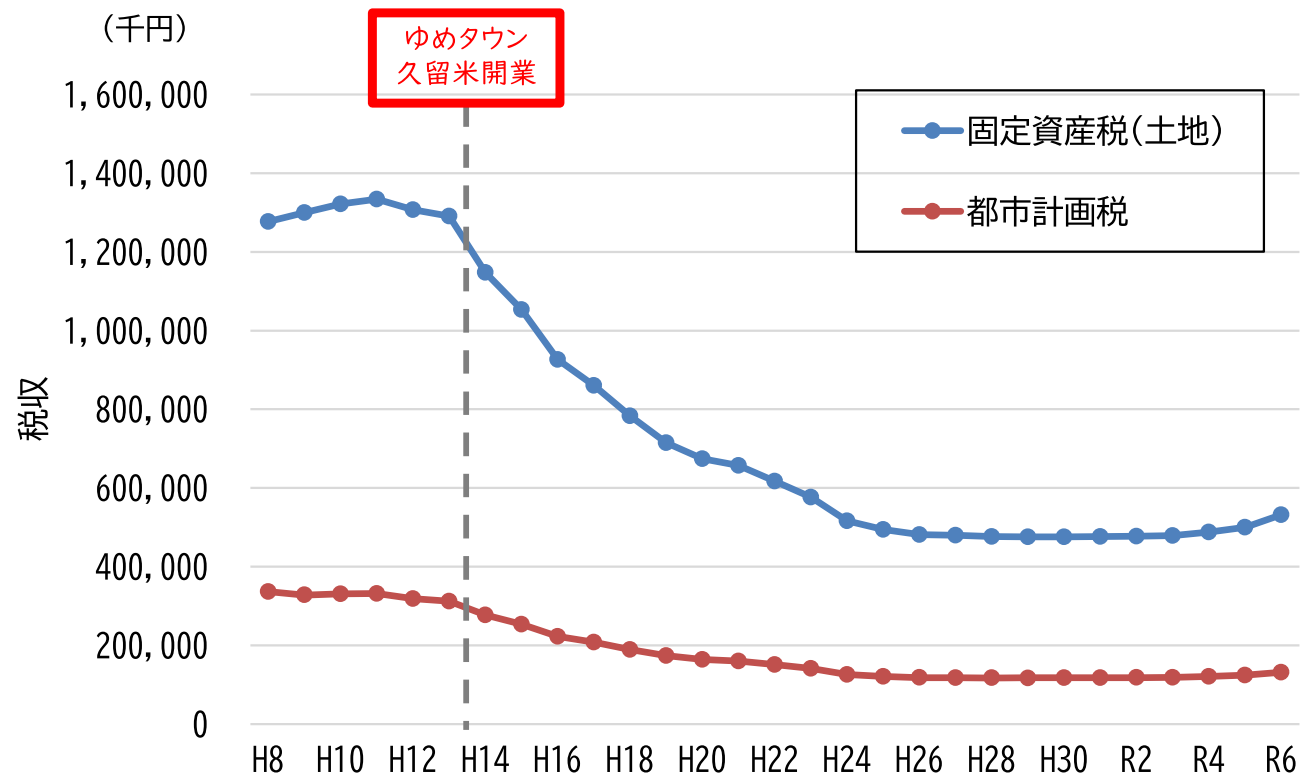


※不動産ライブラリにおいて、中心市街地のH10年以前からR7年の地価が公表されている地点を抽出

固定資産税(土地)・都市計画税の減収

17億(H11)→:8億(R6)

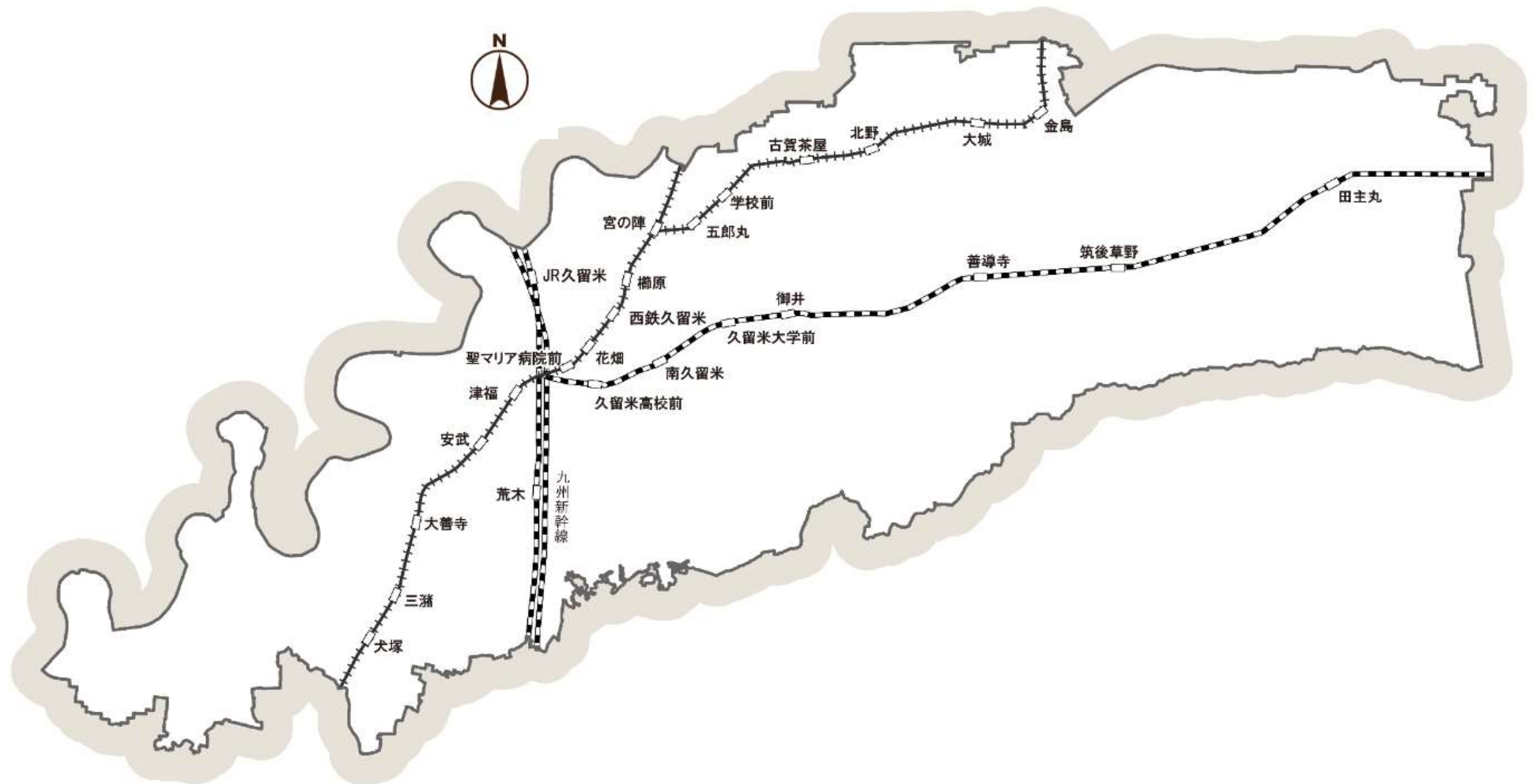
中心市街地の税収の推移



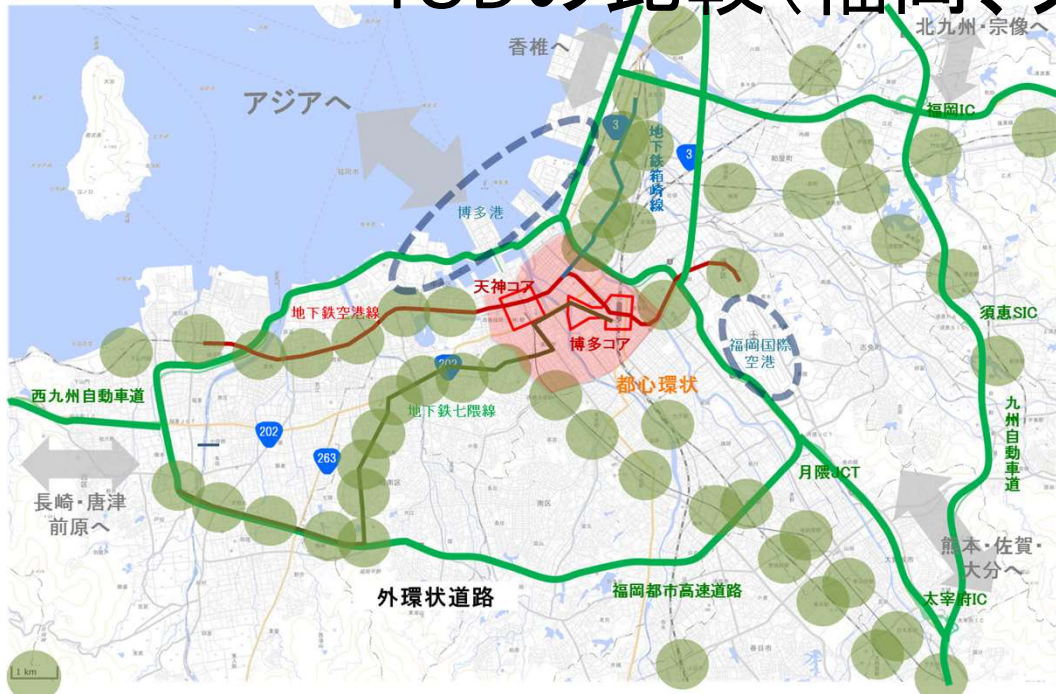
※中心市街地 12町(縄手町、中央町、京町、城南町、天神町、六ツ門町、日吉町、東町、大手町、通東町、通町、小頭町)の税収を試算

久留米市コンパクト＆ネットワーク 戦略

久留米市内の25鉄道駅を活かす



TODの比較(福岡、久留米、広島、岡山)



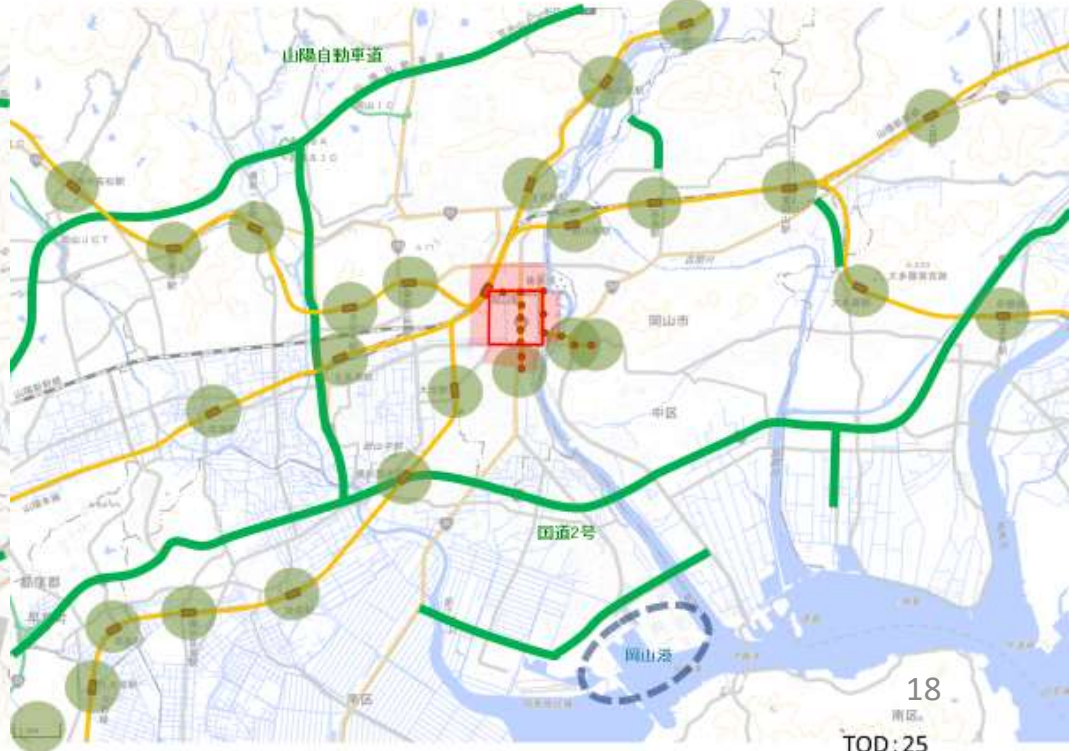
TOD: 53



TOD: 25



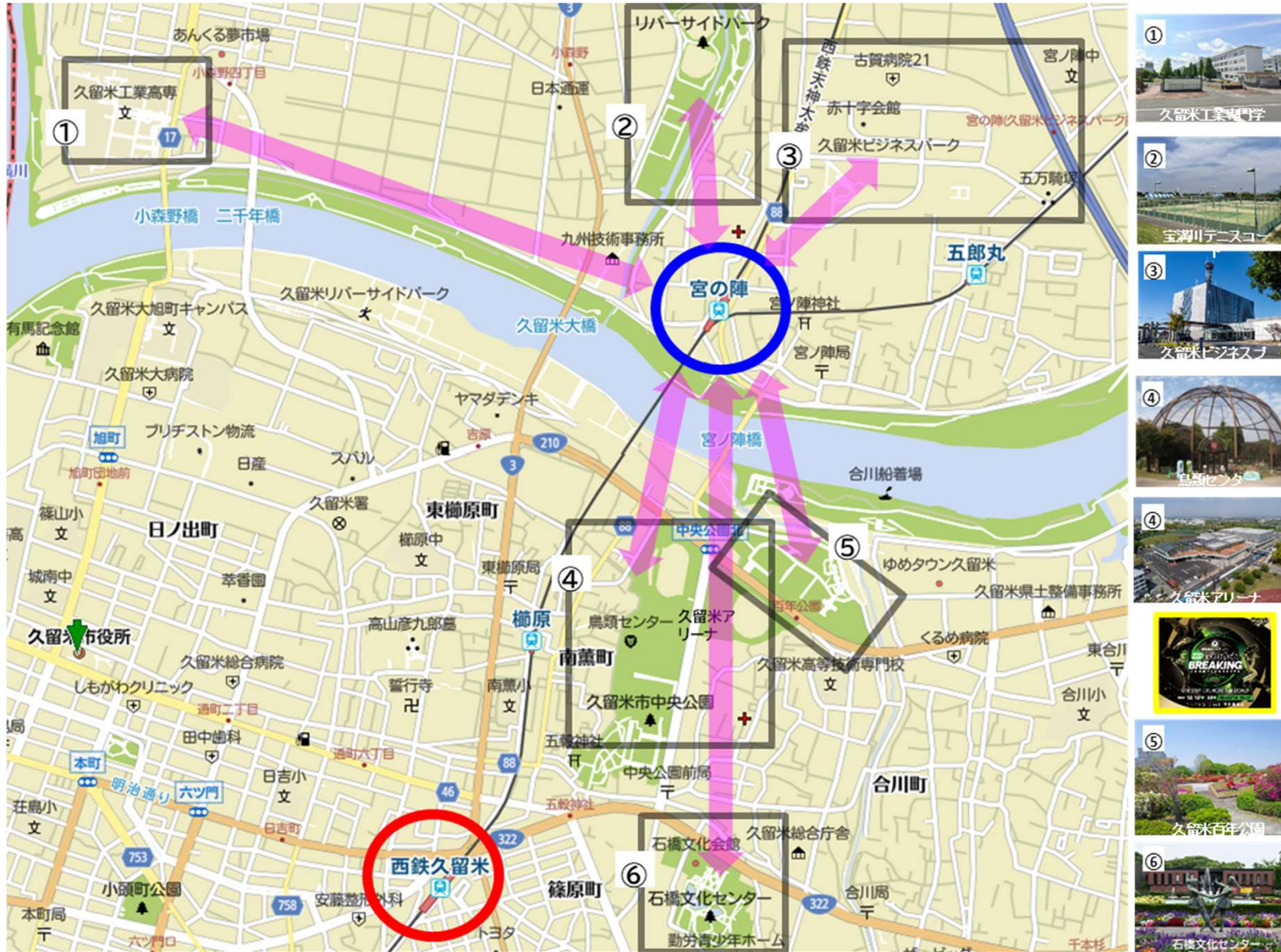
TOD: 42



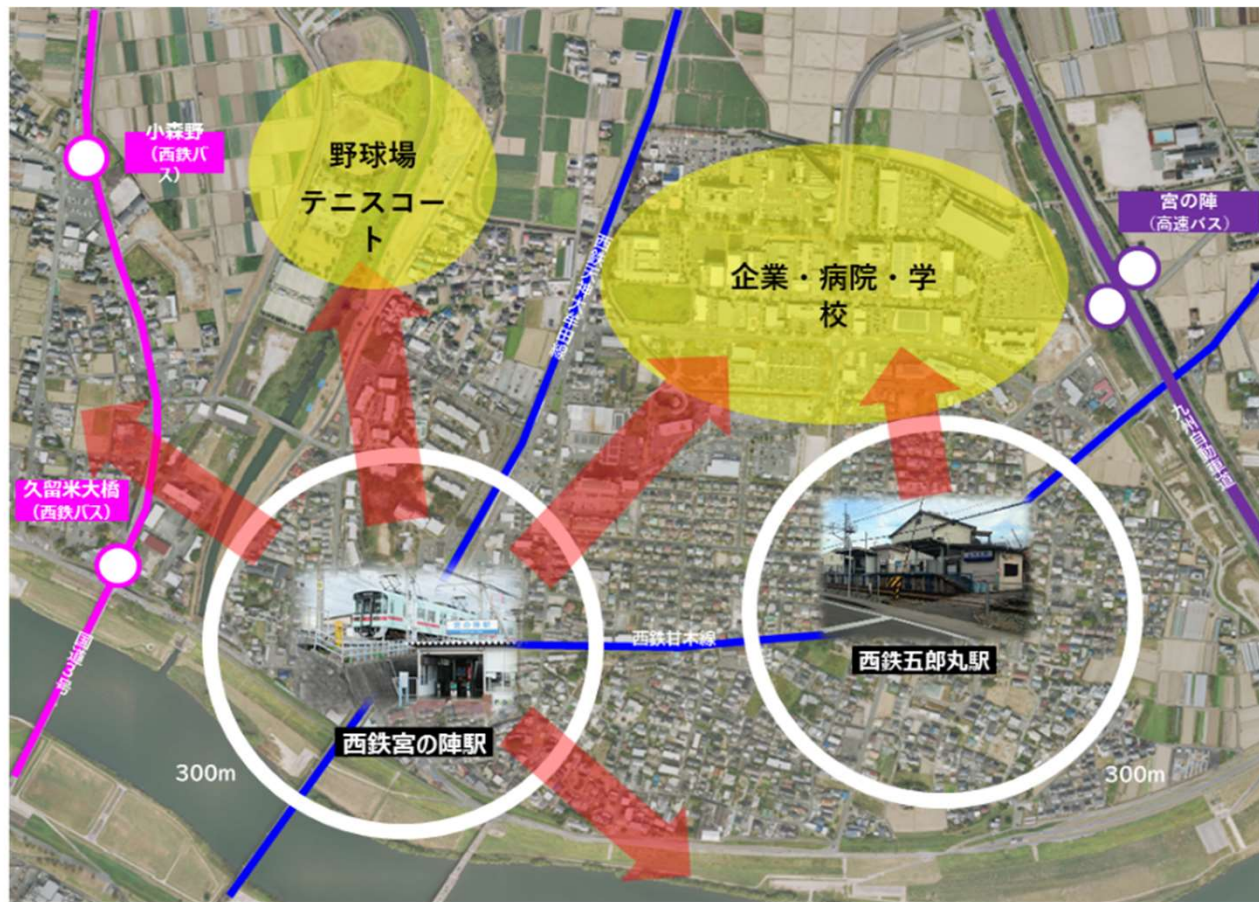
18
南区
TOD: 25

北の玄関口 西鉄宮の陣駅

北の玄関口「西鉄宮の陣駅」



交通結節点だが二次交通が不足



西鉄電車

- ・西鉄天神大牟田線急行停車駅
- ・西鉄甘木線主要駅
- ・乗降者数 2,441人/日(R6)

西鉄バス

- ・久留米-鳥栖線10系統
(上下各々) 17便/日

高速バス

- ・福岡空港-久留米等
(上下各々) 16便/日

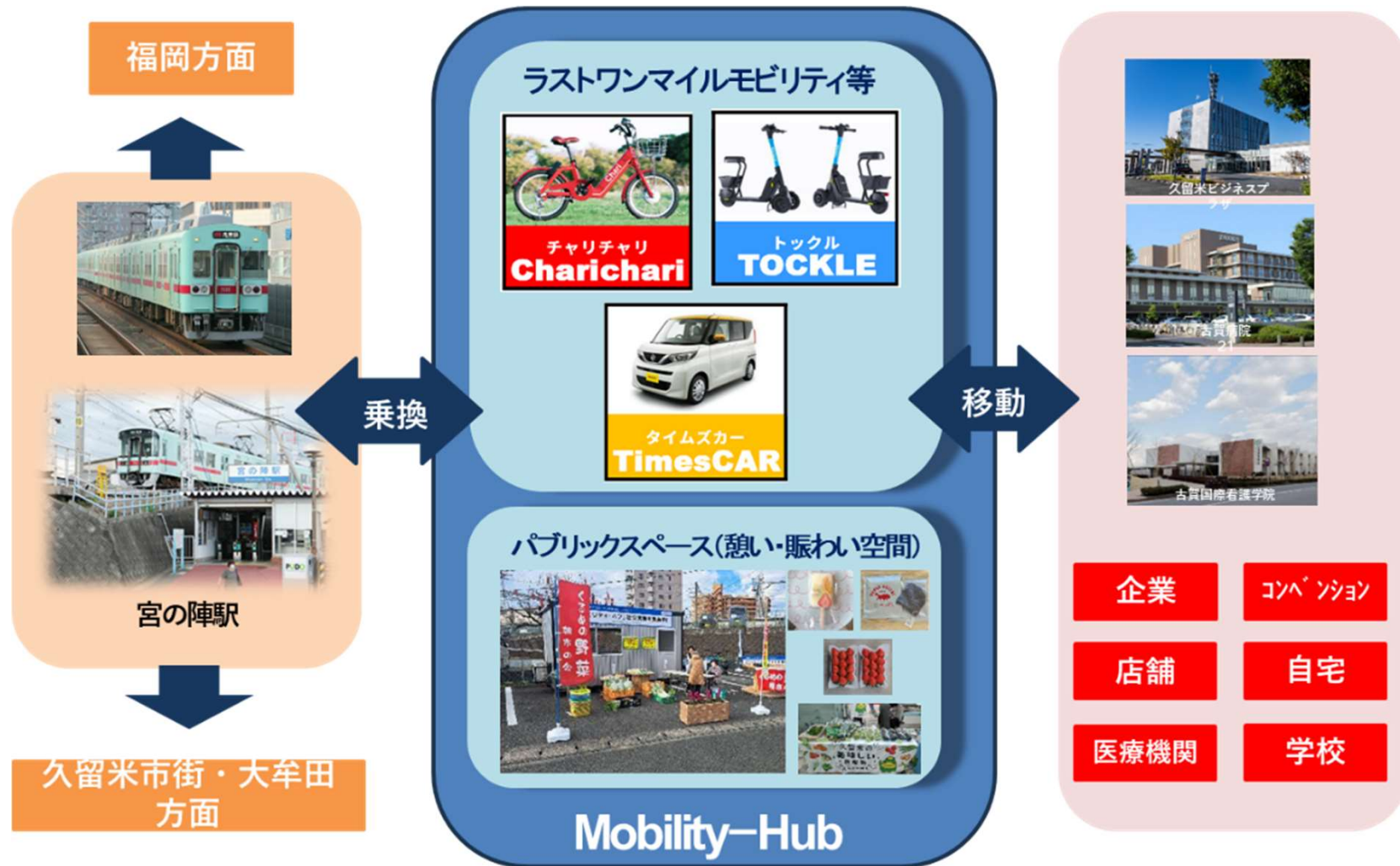
【潜在需要】

宮ノ陣オフィスアルカディア構想の下、
企業や医療・教育機関等が集積

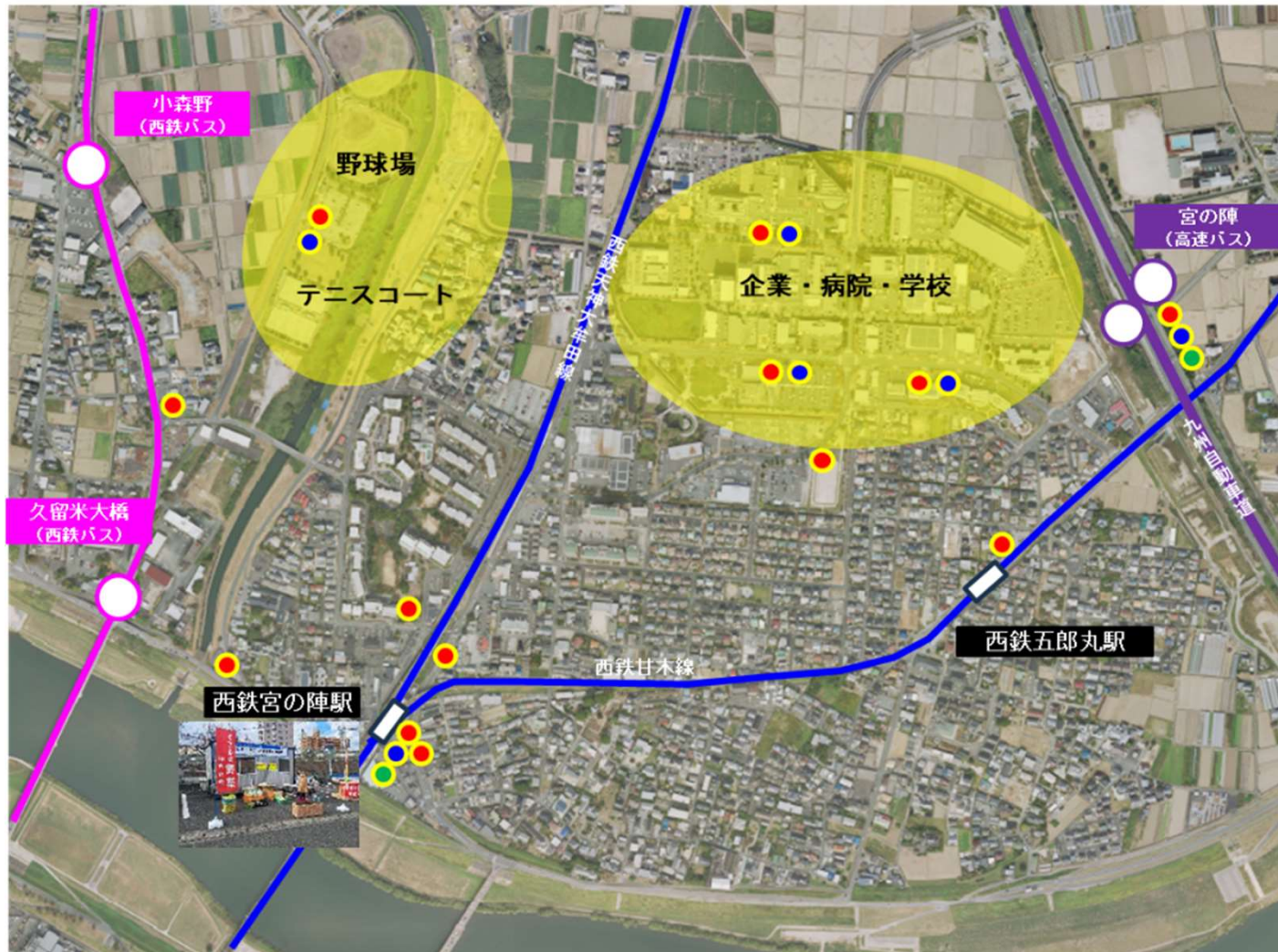
※企業

企業数223社、従業員数 4,816人
(宮ノ陣1~6丁目、R3 経済センサス)

宮の陣モビリティハブ



モビリティポート配置状況



● チャリチャリ
(13)



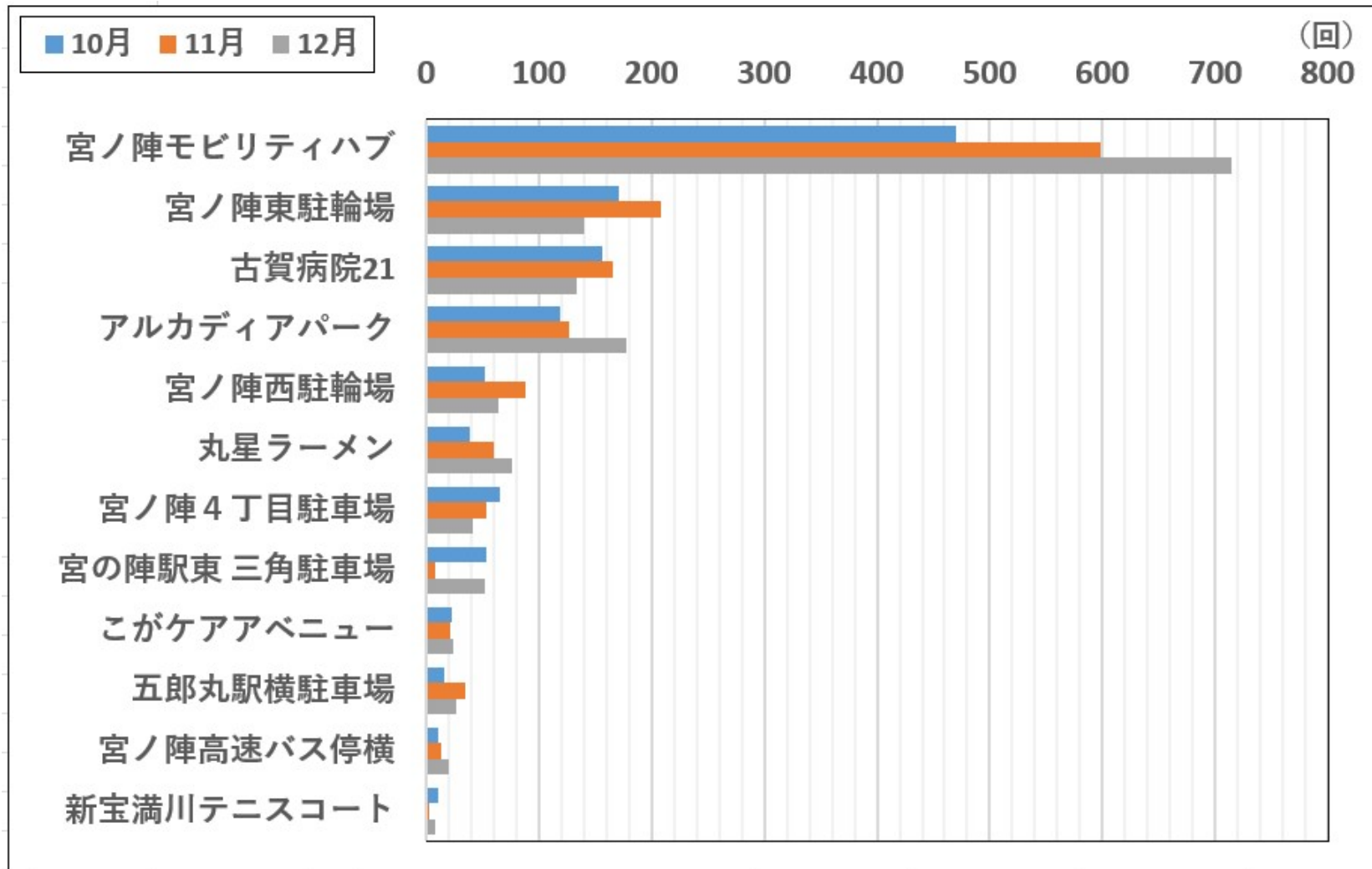
● 電動シートボード
(5)



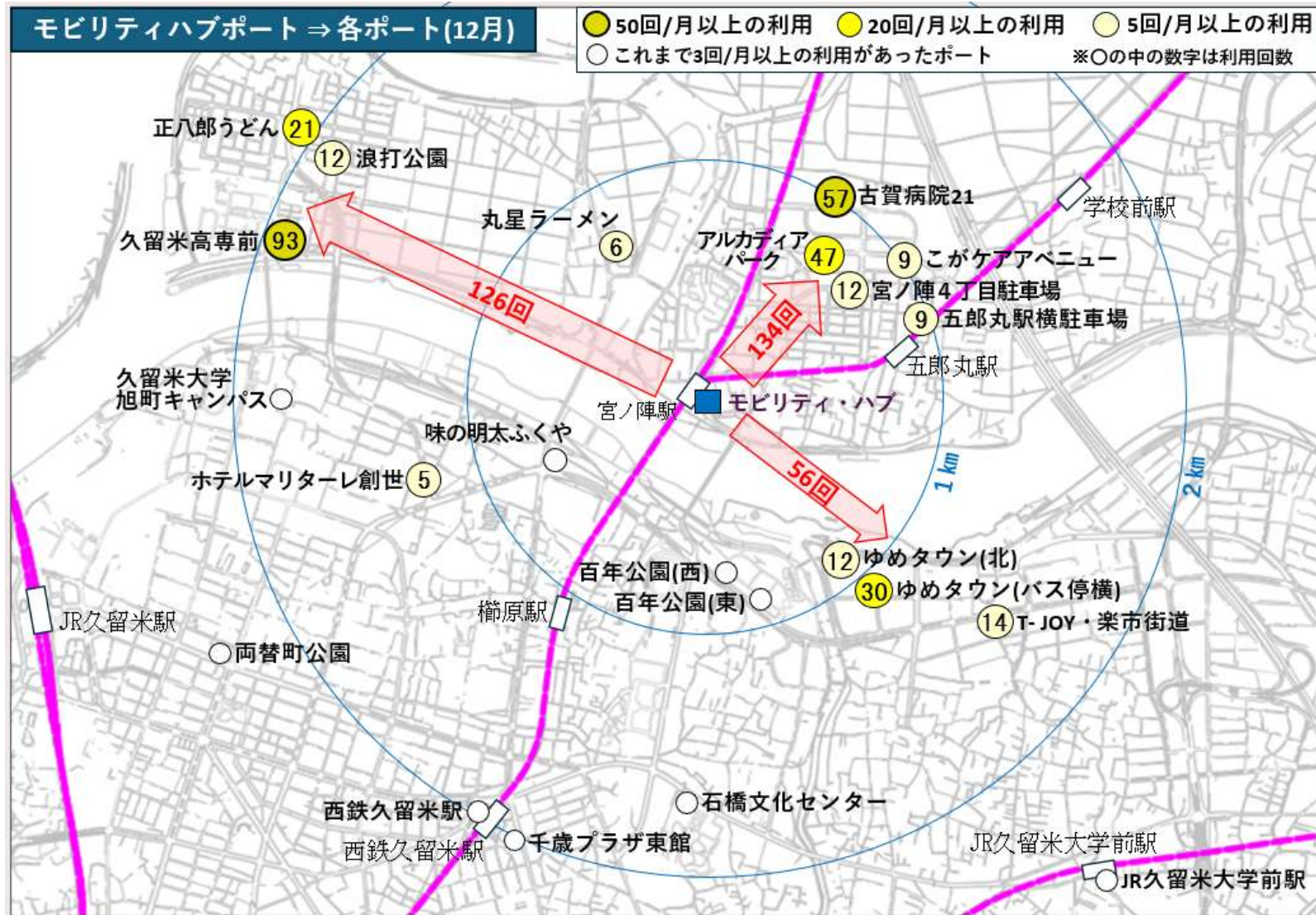
● シェアカー
(2)

ChariChari利用状況

着実な利用者の増加



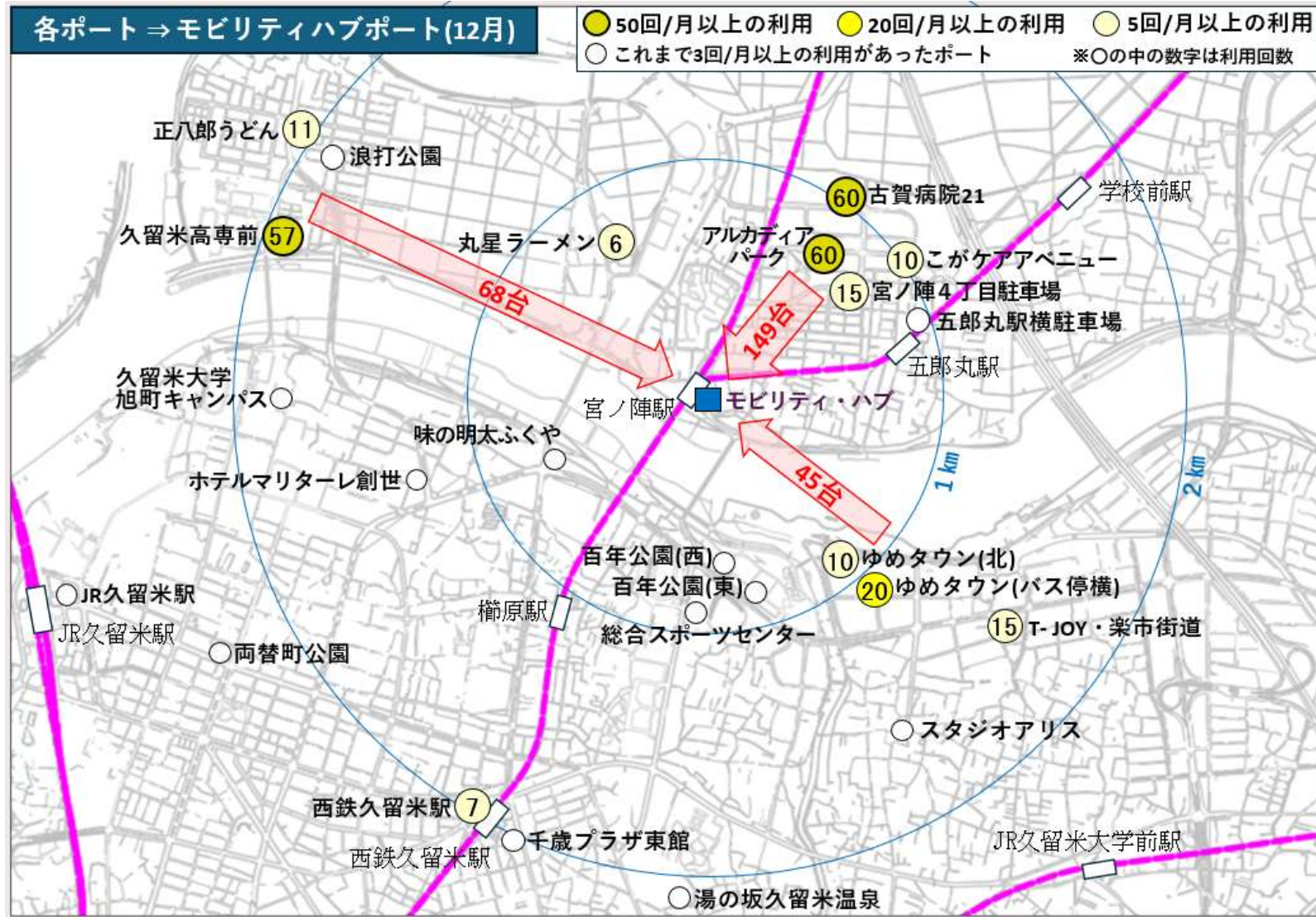
ChariChari利用状況 北の玄関口の機能強化



方向別利用状況 (ハブOUT)

ChariChari利用状況

医療、ビジネス、学校、買い物の利用



方向別利用状況 (ハブIN)

コミュニティ機能強化

賑わいの場(マルシェ、子育て支援、公共サービス施設 等)



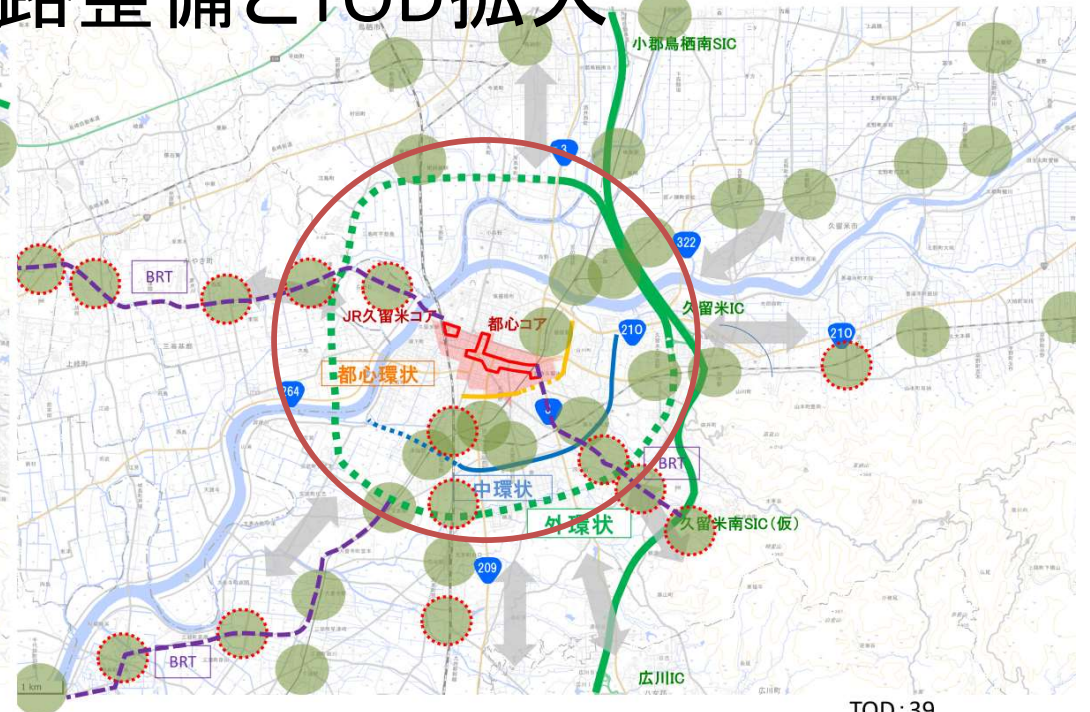
西鉄宮の陣Re-Born計画の今後

- 目的
 - 移動の利便性向上、人が集まる交流空間づくりを通じた、地域コミュニティの活性化
- 手段
 - シェアサイクル・電動シートボード・シェアカーの「モビリティ導入」
 - 子育て・高齢者ケア施設の設置、地域の賑わい創出、地域コミュニティ活性化のためマルシェ等の実施による「人が集まる交流空間づくり」
- ステップ
 - 第1弾: 宮の陣駅周辺の駐輪場整備(2025年3月)
 - 第2弾: 「モビリティ・ハブ社会実験」(2025年?)
 - 第3弾: 久留米MaaS導入によるソフト対策強化
 - 第4弾: 駅前広場や自動車交通の改善(今後)
 - 第5弾: モビリティハブのコミュニティハブ化・活性化(最終目的)
- 横展開
 - モビリティハブ機能の整理と25駅への横展開

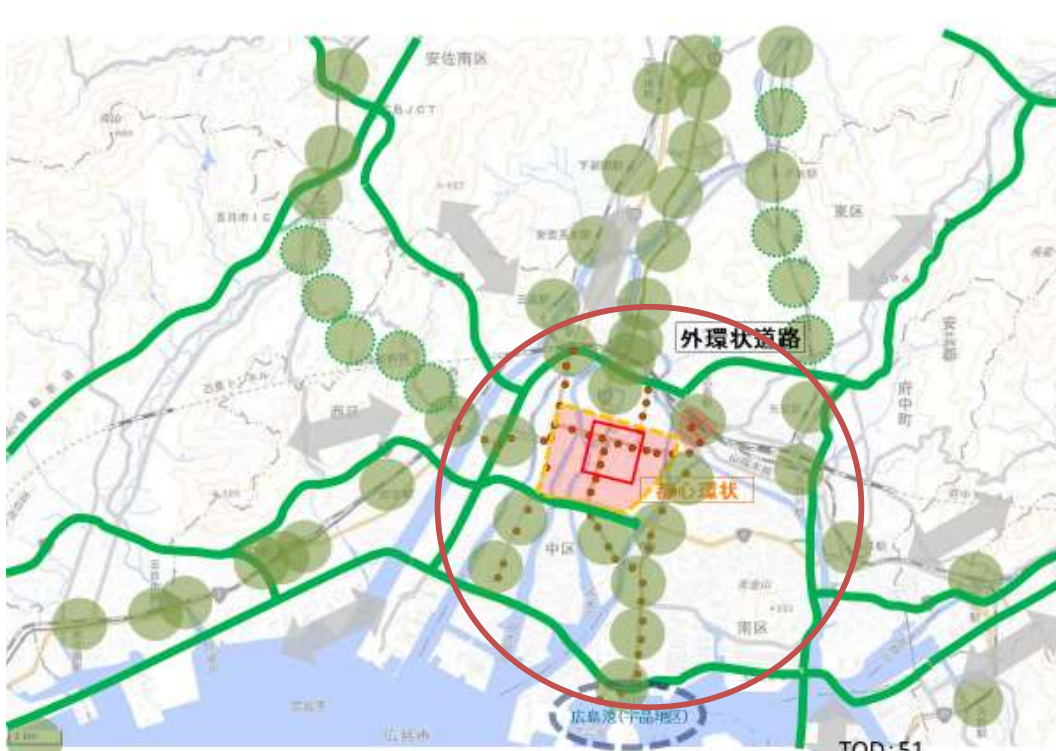
理想的な環状道路整備とTOD拡大



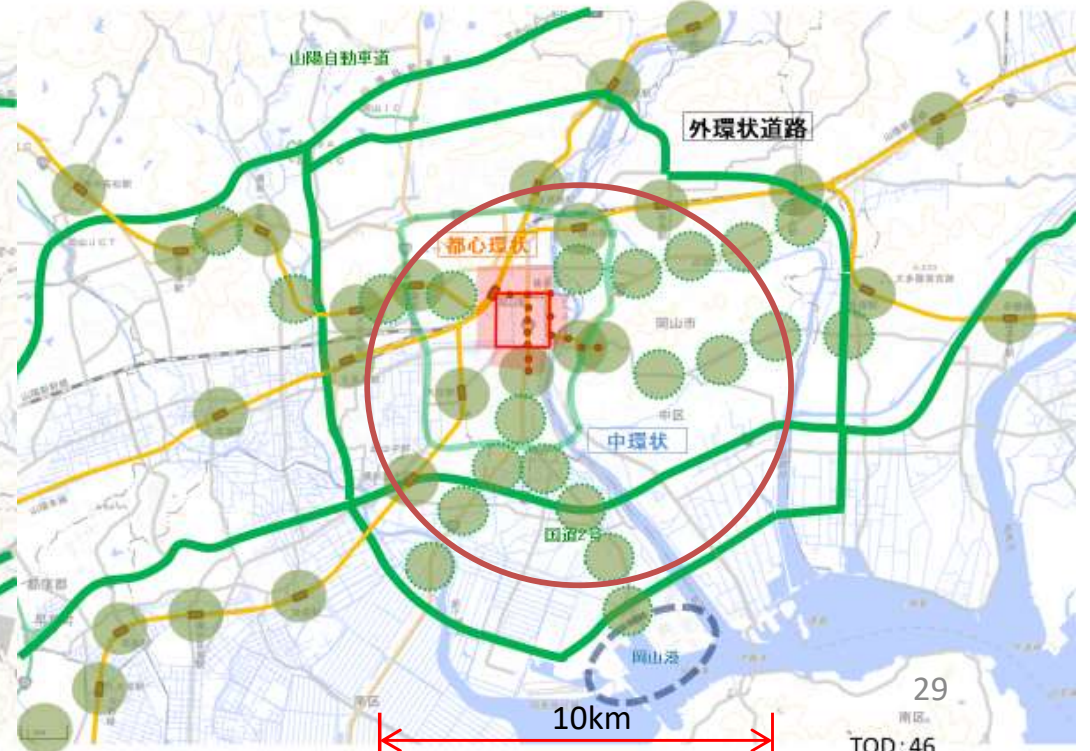
TOD: 53



TOD: 39



TOD: 51



TOD: 46

久留米市の公共交通議論の場

久留米地域ITSモビリティ研究会 (2025年10月30日発足)

【目的】

中核都市久留米市をフィールドとし、全国的に共通な都市課題(人口減少と高齢化、中心市街地の活力低下、スプロール化等)に対し、最先端のITSやモビリティの技術を活用したイノベーションによって課題解決を図ることを目指す(有志プロジェクト)

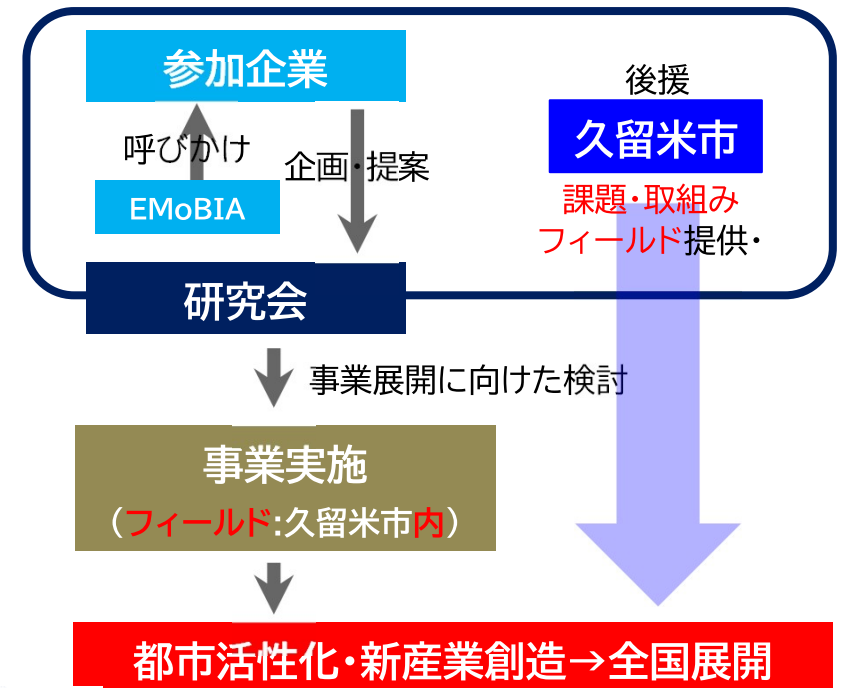
【概要】

- ◆名称: 久留米地域ITSモビリティ研究会
- ◆主催: 一般社団法人EMoBIA
- ◆後援: 久留米市
- ◆内容:
 - ① 情報共有(久留米市の課題・取組み、ITSやモビリティに係る最新技術及び研究開発の話題提供)
 - ② 企画提案(国県事業の予算獲得に向けた参加者からの提案)
 - ③ 事業実現に向けた活動(実施主体による具体的な活動)
- ◆回数: 2~3か月に1回程度

【対象分野】

- ◆まちづくり(中心市街地活性化、地域交通のリ・デザイン)
- ◆交通(交通状況可視化、生活交通支援、通勤MaaS、モビリティハブ)
- ◆観光(ロゲイニング、来訪需要創出、MaaS)
- ◆自動運転(車両、パンクレスタイヤ、ワイヤレス給電)
- ◆最先端技術(画像処理、自動運転制御、金属加工 等)

【事業フロー】



参加企業一覧

No	企業名	人数	No	企業名	人数	No	企業名	人数
1	久留米市役所	8	14	ミックウェア モビリティ	1	27	Will Smart	1
2	EMoBIA	5	15	久留米高専	1	28	ミライト・ワン・システムズ	1
3	マーブル	4	16	電気興業	1	29	アーキプラス	1
4	久留米大学	4	17	日本工営	1	30	久留米工業大学	1
5	ダイハツ工業	3	18	筑後川プロジェクト協会	1	31	熊本学園大学	1
6	沖電気工業	3	19	Community Mobility	1	32	九州地方整備局	1
7	ゼンリン	3	20	PTV Group Japan Co.,Ltd	1	33	崇城大学	1
8	福岡県	3	21	アジア航測	1	34	西鉄バス久留米	1
9	NTTデータ	3	22	アビームコンサルティング	1	35	大川市長後援会（農業）	1
10	ケー・シー・エス	2	23	トヨタ自動車九州	1	36	筑紫女学園大学	1
11	NTTドコモビジネスソリューションズ	2	24	ネクスト・モビリティ	1	37	九州志士の会	1
12	RYDE	2	25	ビーコンコミュニケーションズ	1	第1回研究会 参加人数:71名、参加企業37社		
13	AMANE	1	26	RYODEN	1			

参加団体募集中！

詳しくは(<https://emobia.or.jp/>)